

Photoshop 講習会

テキスト

明治大学 教育の情報化推進本部

20150325 版

はじめに	1
1. 写真をきれいに補正しよう	2
1.1. Photoshop を起動	2
1.2. 補正する写真を選択して開こう	2
1.3. 色調補正機能を使おう	3
1.4. 補正前と補正後の画像を比較しよう	3
1.5. 補正した写真を保存しよう	5
1.6. 保存するファイル形式を選択しよう	5
2. 簡単な写真の加工 1	6
2.1. ズームツールで画像の加工したい部分を拡大しよう	6
2.2. スポット修復ブラシツールでほくろを消してみよう	8
2.3. 修復ブラシツールで汚れを消そう	9
3. 簡単な写真の加工 2	10
3.1. コピースタンプツールでトマトを増やしてみよう	10
3.2. トマトの色合いを変化させよう	12
3.2. 各ツールの特徴比較	13
4. 写真の合成 1	14
4.1. 2つの写真を重ねてみよう	14
4.2. 背景を消してみよう	15
4.3. 背景を確認しよう	16
4.4. 細かく背景を消してみよう	16
4.5. マジック消しゴムでビルの背景を消してみよう	17
4.6. 画像の配置を変更しよう	18
5. 画像のトリミング	18
5.1. 自由な大きさにトリミングする方法	18
5.2. 画像サイズ比率を指定したトリミング	19
6. 写真の合成 2	20
6.1. レイヤー機能で、地球とカレンダーを合成	21
6.2. 地球のサイズを縮小、位置を調節	22
6.3. 背景を黒く塗りつぶそう	23
6.4. カレンダーを見やすくしよう	24
7. 付録	25
7.1. 宇宙部分に星を描き足してみよう	25
7.2. 流れ星（すい星）を描く	27
7.3. 保存 1) 編集状態を保持（PSD 形式）	29
7.4. 保存 2) Web 用に保存（JPG 形式など）	29
7.5. 目的に合わせた解像度の設定値（目安）	30

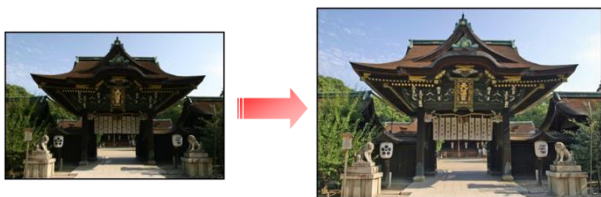
はじめに

Photoshop とは

写真を補正したり、画像を加工・合成したり、特殊効果を使ったりした作品を創り出せる画像編集ソフト（フォトレタッチソフト）です。画像編集の基本を覚えて、撮影した写真を加工して、一歩進んだ表現方法に挑戦してみましょう。

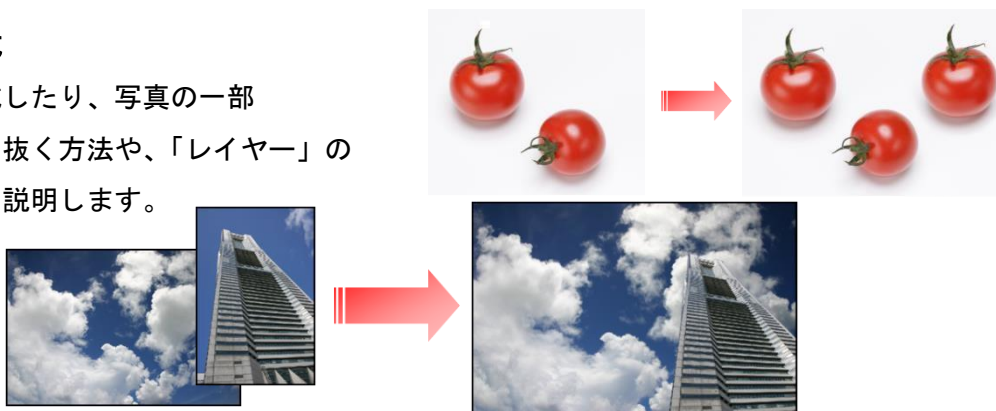
写真の補正、簡単な加工

「クイック補正」を使って、逆光やピンボケなど、写真を補正する方法や、「コピースタンプツール」の使い方を説明します。

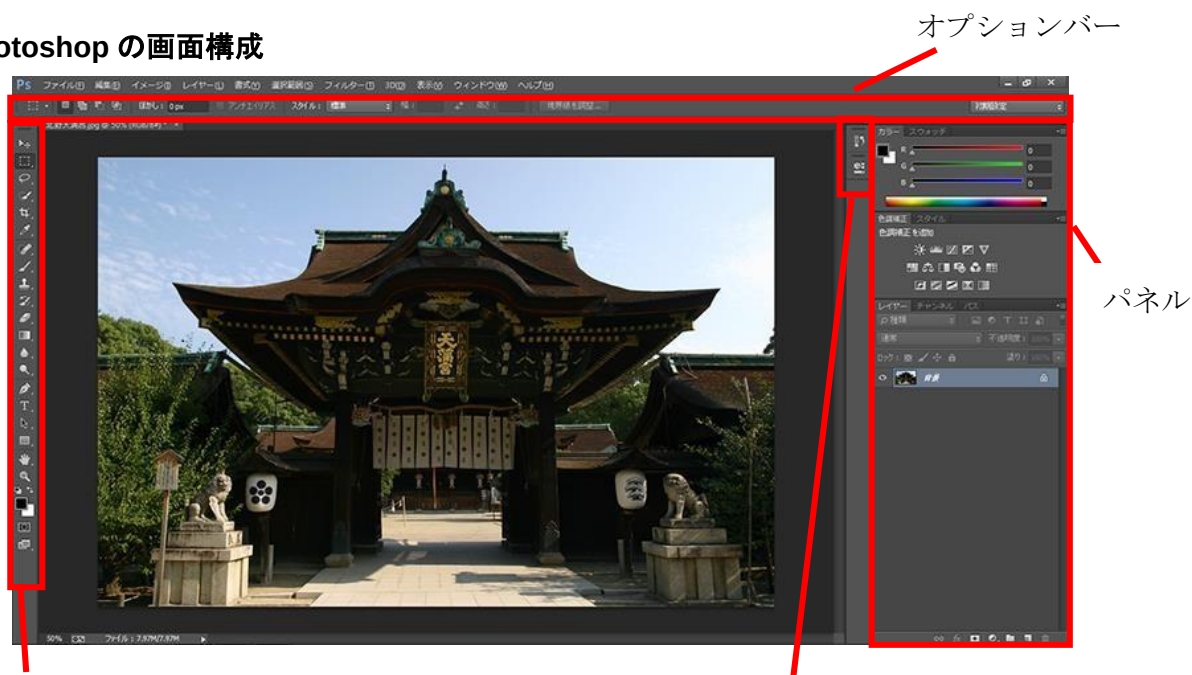


画像の合成

画像を合成したり、写真の一部だけを切り抜く方法や、「レイヤー」の扱いかたを説明します。



Photoshop の画面構成



ツールパネル

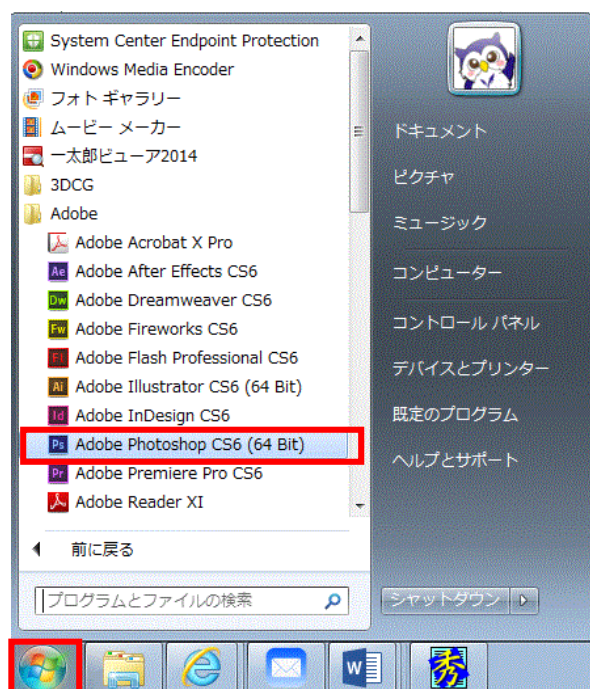
Dock (ドック)

1. 写真をきれいに補正しよう

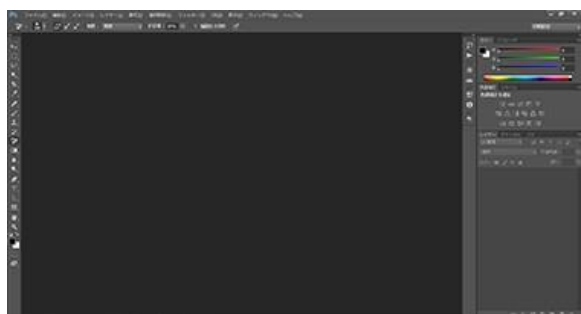
クイック補正を使って、少し失敗気味の写真をきれいに補正します。

1.1. Photoshop を起動

「スタート」メニューから「すべてのプログラム」→「Adobe」→「Adobe Photoshop CS6(64bit)」を起動します。



Photoshop が起動しました。



1.2. 補正する写真を選択して開こう

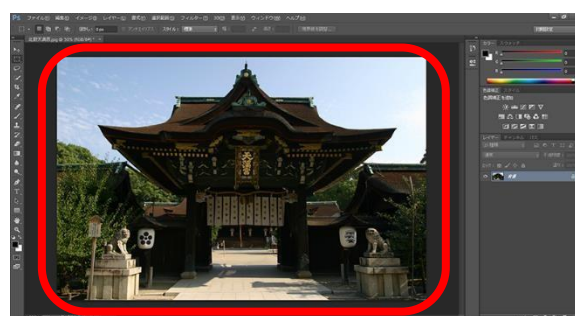
「ファイル」→「開く」をクリックします。



¥情報関連講習会¥Photoshop フォルダの「北野天満宮.jpg」を選択して開きます。

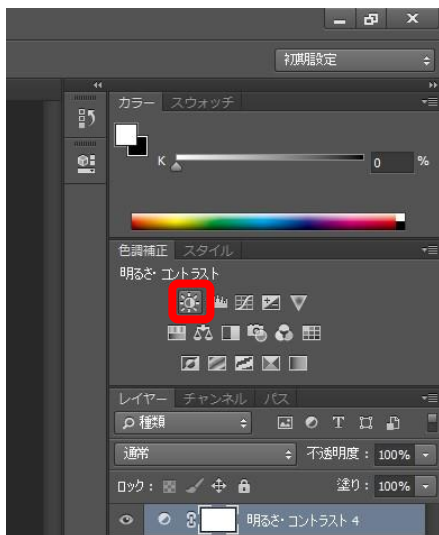


北野天満宮の写真が表示されます。

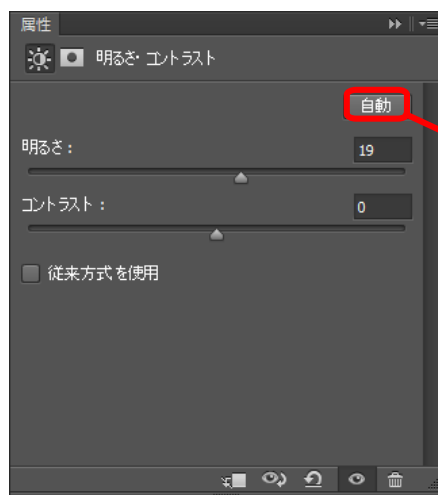
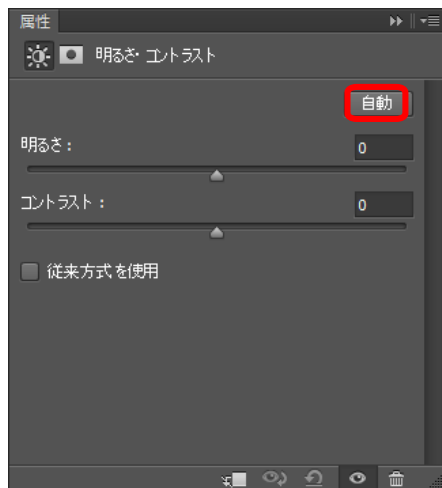


1.3. 色調補正機能を使おう

右パネルの色調補正の明るさ・コントラストを選択します。



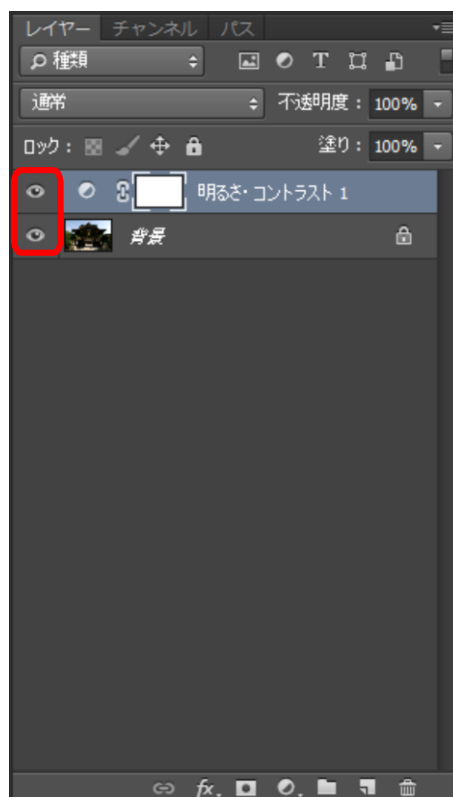
属性パネルが開くので一般補正の「自動」をクリックすると、画像が補正されます。



属性パネル等の開け閉めはここをクリックして行う

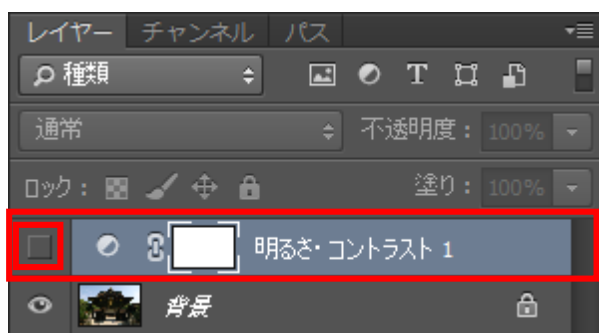
1.4. 補正前と補正後の画像を比較しよう

補正前と補正後で画像がどのように変わったかを確認するために、レイヤーパネルを使います。右下にあるレイヤーパネルのレイヤーの表示/非表示をクリックして補正前・後の天満宮の画像を確認します。

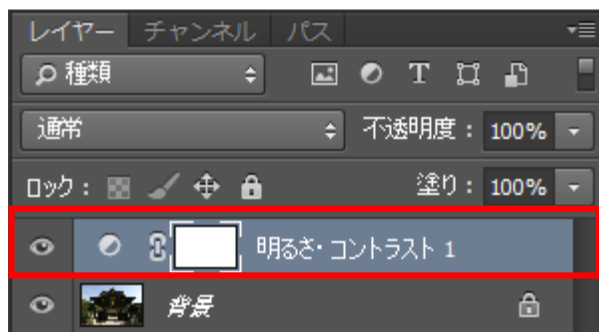


レイヤーとは、透明なシートのようなものです（6.2 を参照のこと）。ここでは自動補正を行うと天満宮の元画像のレイヤーとは別に『明るさ・コントラスト1』というレイヤーができます。新しくできた、このレイヤーを表示／非表示を切り替えることで色調補正前と後の画像を確認できます。

『明るさ・コントラスト1』レイヤーを非表示にすると、元の画像が確認できます。

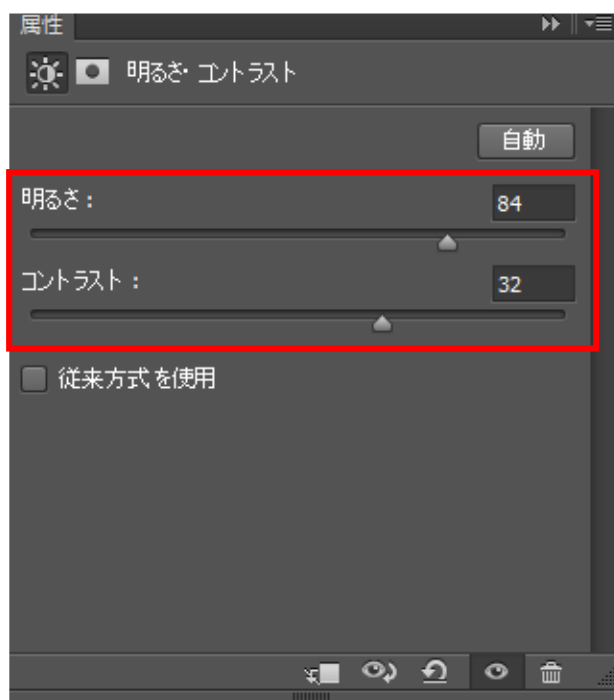


『明るさ・コントラスト1』レイヤーを表示にすると、色調補正後の画像が確認できます。



今回は自動で色調補正を行いました、次のように手動で各パラメータを調整して、好みの画質にすることもできます。

以下のようにパラメータを変更すると、さらに明るく、くっきりとした加工ができます。





※注意

補正をしすぎると画質を損ないかねません。やり直したい時は、パネルエリア操作時に表示される『明るさとコントラストの属性パネル』の右下にある『レイヤー削除』アイコンで削除することができます。



レイヤー削除アイコン

※Photoshop で、前の操作に戻るには、ヒストリーツールを用います。



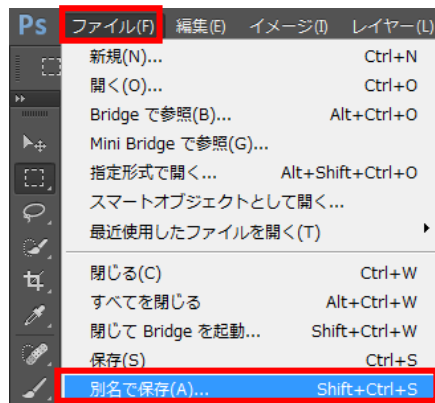
ドックのこの場所をクリックしても出し引きできる。

Photoshop では操作した順番にヒストリーツールに記録されていきます。ヒストリーツールからたどって、変更を加える前の場所まですぐに戻ることができます。

また、ヒストリーツールはドックにいつも収納されているのですぐに引き出すことができます。

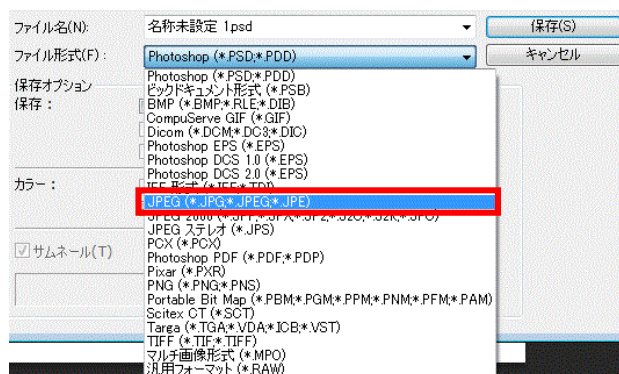
1.5. 補正した写真を保存しよう

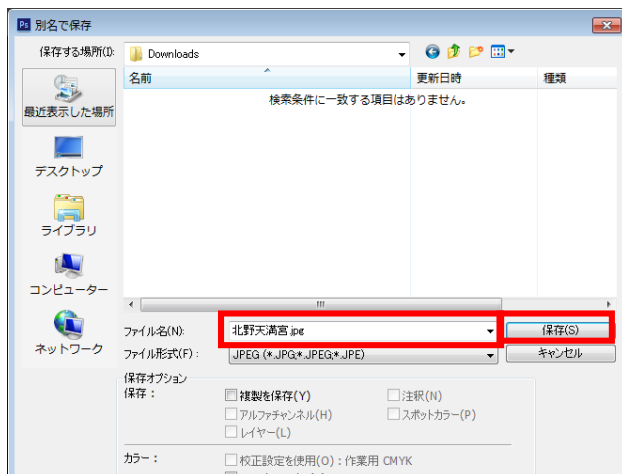
- ② メニューバーで「ファイル」を選択し、
- ② 「別名で保存」を選択します。



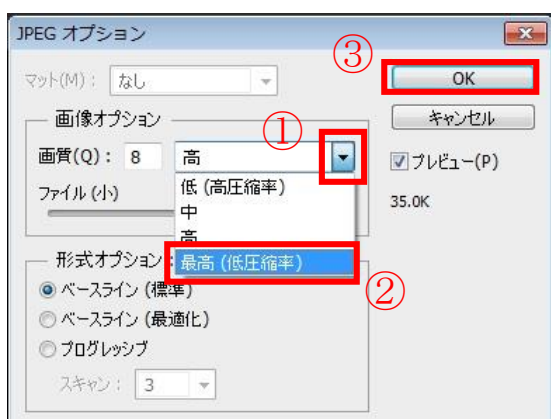
1.6. 保存するファイル形式を選択しよう

ファイル形式：「JPEG（*.JPG, *.JPEG, *.JPE）」を選択して、





ファイル名を変更して「保存」をクリックします。JPEGで保存する場合、画質を選択でき、今回は最高（低圧縮率）を選択します。



- ① ▼をクリックし、
 - ② 「最高（低圧縮率）」を選択し
 - ③ 「OK」をクリックします。
- これで加工した画像を保存できました。

2. 簡単な写真の加工 1

スポット修復ブラシツールと修復ブラシツールを使い、顔の汚れを自然に消してみましよう。

2.1. ズームツールで画像の加工したい部分を拡大しよう

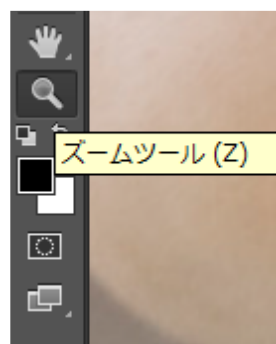
まず、「開く」をクリックしてサンプル写真が保存されているフォルダを開きます。



「2女性.jpg」を選択して開きます。



次に作業しやすいように画像を拡大します。
左のツールパネルでズームツールを選択します。



オプションバーで拡大を選択します。

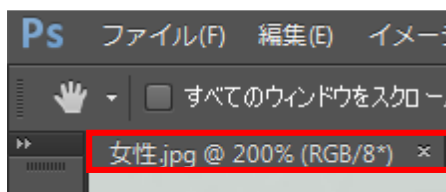


画像をクリックして拡大

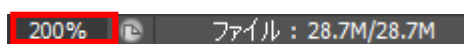
この方法で画面表示を「200%」に拡大します。



画面の左上に表示倍率の示されていて200%になったことが確認できます。



または、



画面左下の表示倍率の表示で200%になったことが確認できます。

【補足】

前項でも説明したように、キーボードのCtrlキーと+キーを同時に押しても、ズームインします。Ctrlキーと-（マイナス）キーを同時に押すとズームアウトします。（この場合はドキュメント画像の中心部分を中心に拡大されます。）

また、Altキーを同時に押しながら、マウスのスクロールを上に転がすとマウスカーソルキーを中心に拡大します。Altキーを同時に押しながら、マウスのスクロールを下に転がすとマウスカーソルキーを中心に縮小します。

さらに、Ctrlキーと0（ゼロ）で、画面に合わせて表示、Ctrlキーと1（ゼロ）で、倍率100%すなわち原寸表示になります。

次に手のひらツールを選択してドラッグし、

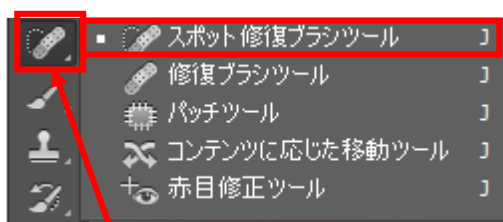
作業しやすい位置に（たとえば横顔の頬の部分が中心に）ほくろが来るように移動します。





2.2. スポット修復ブラシツールでほくろを消してみよう

ツールパネルのを長押ししてスポット修復ブラシツールを選択します。



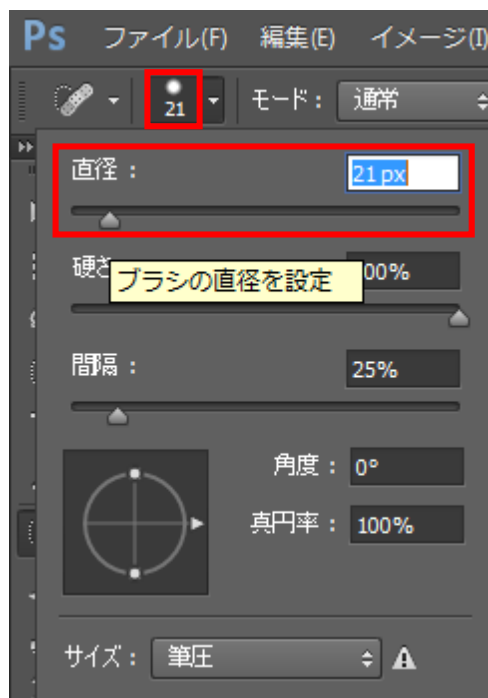
長押し

つぎに、

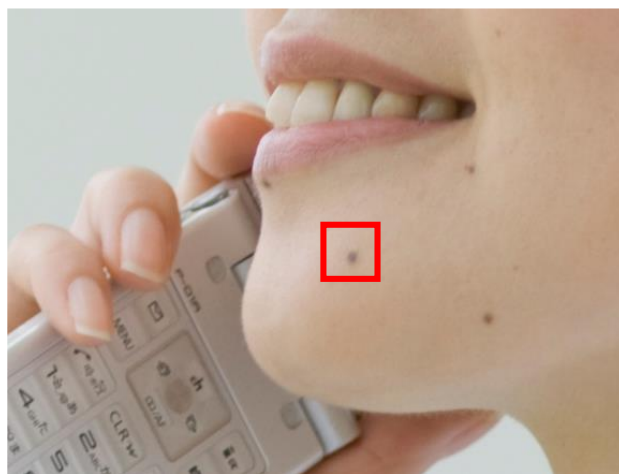
- ① オプションバーで▼をクリックして、
- ② ブラシの直径を設定します。

※修正する部分よりもブラシを大きく設定するのがコツです。

今回は直径を「21px」に設定します。



目の下・頬のほくろの上にマウスポインタを合わせて、ほくろの部分の数回クリックします。



ほくろが消えました。

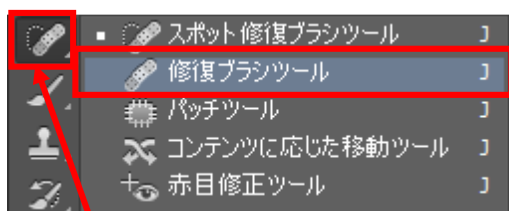


手のひらツール  で画像を動かし、同様の操作でそのほかの気になるほくろや汚れをクリックして、うまく消してみましょう。



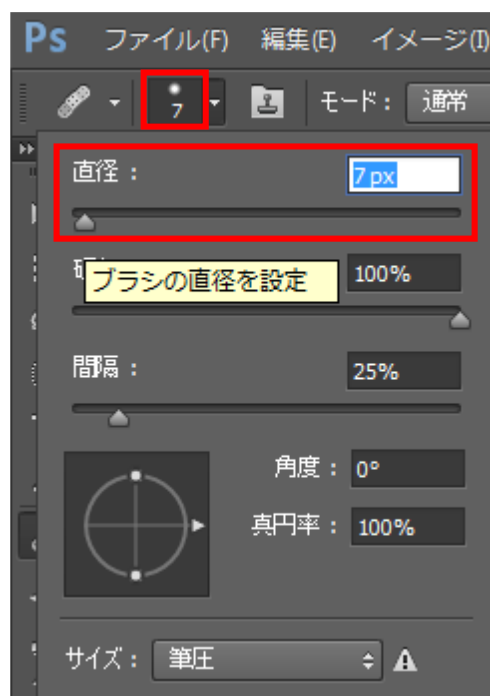
2.3. 修復ブラシツールで汚れを消そう

目の下の影を修正します。手のひらツール  で目元を画面の中央に移動させたらツールパネルの  を長押しし、修復ブラシツール  を選択してください。



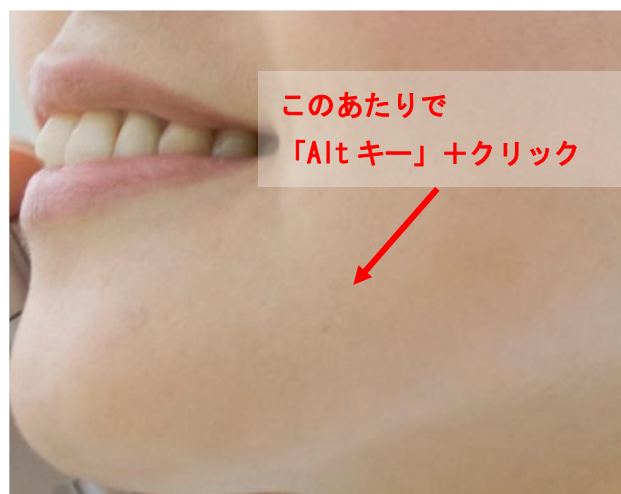
長押し

- ① オプションバーで▼をクリックして、
- ② ブラシの「直径」を「7px」に設定します。



修復に使う色の場所を選択します。「Alt」キーを押しながら修復したい場所の色と一致する部分にマウスポインタを合わせ、クリックします。（色のサンプリング）

今回は頬の下あたりを使用します。



次に影の上にポインタを合わせてブラシをドラッグします。



ドラッグした部分の汚れが消えました。同様の操作で唇の右側の部分の汚れも消してみましよう。



最後に手のひらツール  のオプションバーで「画面サイズ」ボタンか「画面にフィット」ボタンを押して写真全体を表示して確認してみましよう。



3. 簡単な写真の加工 2

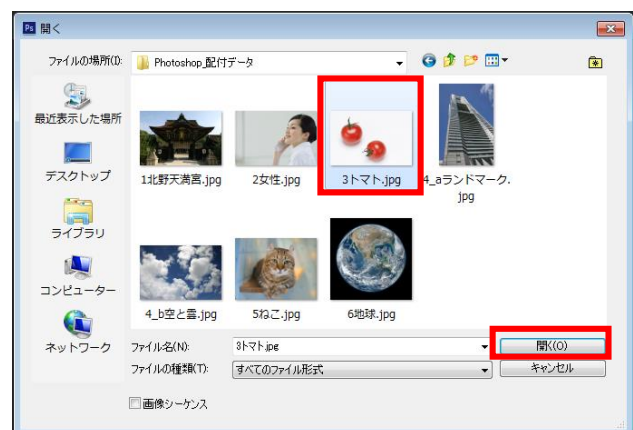
このレッスンではコピースタンプツールを使ってトマトをコピーして増やし、増やした方のトマトの色を変化させてみましょう。

3.1. コピースタンプツールでトマトを増やしてみよう

「開く」から使用する画像を選択します。

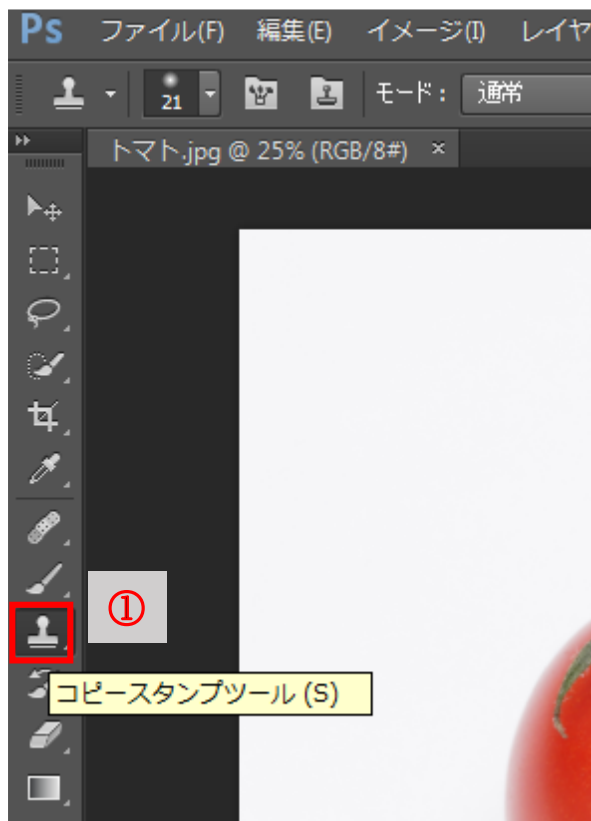


サンプル写真が保存されているフォルダから「3 トマト.jpg」を選択し、開きます。



トマトの画像が開いたら、コピー作業の準備をしましょう。

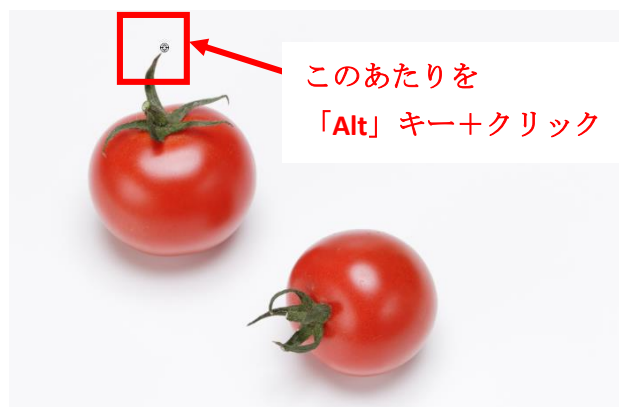
- ① ツールパネルからコピースタンプツールを選択します。



- ② オプションバーの左上の方にある▼をクリックして
- ③ ソフト円ブラシを選択して、300pixelに設定します。



トマトの頂点あたりのピクセルにブラシを合わせて「Alt」キーを押しながらクリックします（サンプリング）。



「Alt」キーを離して、コピーしたい部分にブラシを合わせてドラッグしていきます。



トマトがコピーされました。

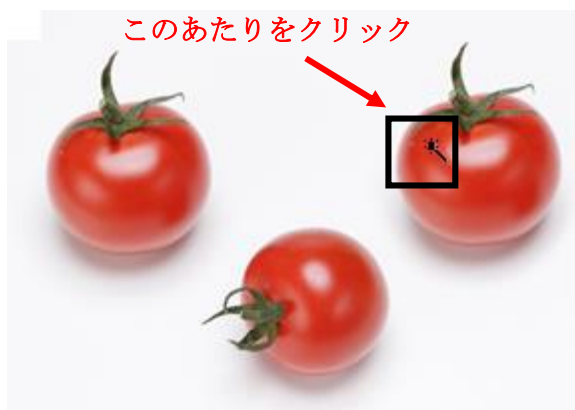
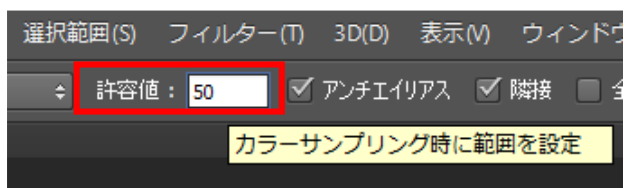


3.2. トマトの色合いを変化させよう

- ① 自動選択ツール  を選び、



- ② オプションバーの許容値を「50」に設定します。



一回のクリックではトマトの全体を選択できません。残りの部分は「Shift」キーを押しながらクリ

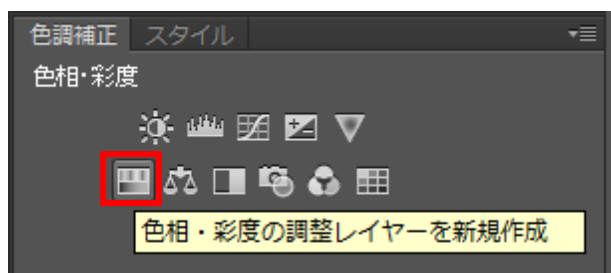
ックして選択範囲に追加します。



それでも選択されていない範囲が残ってしまっている場合は、作業しやすいようにズームツールで画面を任意の大きさに拡大し、許容値を「10～20」に設定し、選択されていない部分を「shift」キーを押しながら追加していきます。また、選択範囲を取り消したいときは、「Alt」キーを押しながらクリックします。

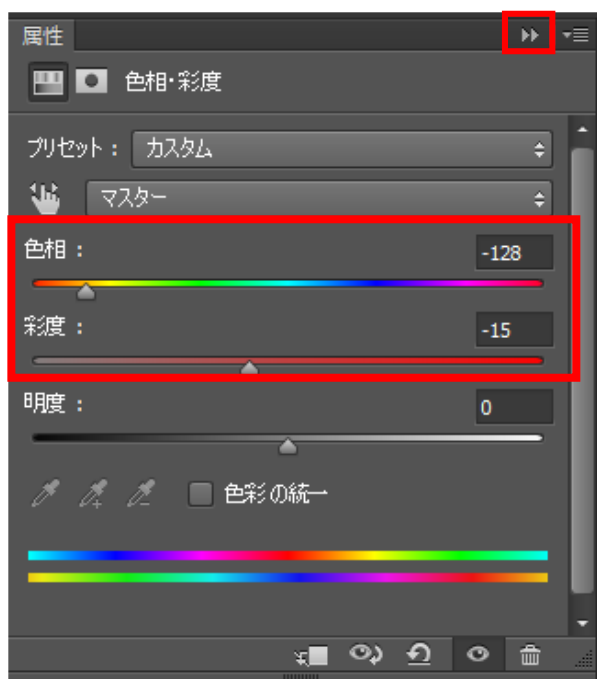


トマト全体が選択された状態になったら、トマトの色を変化させるため、右側の色調パネルで「色相・彩度」をクリックします。



ここではトマトを青色に変化させます。

- ① 属性パネルが開いたら、その中の色相を「-128」、彩度を「-15」に設定します。



- ② 属性パネルは「>>」をクリックすれば閉じられます。トマトの色が青色に変化しました。



3.2. 各ツールの特徴比較

よく理解して、適切なツールを使いこなしましょう。

ツール名	
スポット修復ブラシツール	
サンプリング方法	ブラシ境界線の周りの画像
修復方法	ブラシ内をサンプリングした画像でなじませる

ツール名	
修復ブラシツール	
サンプリング方法	Alt キーを押してクリックした部分の画像
修復方法	クリックした場所に周囲の画像となじませながらサンプリングした画像をのせる (ドラッグするとサンプリング場所の位置関係性を保持)

ツール名	
コピースタンプツール	
サンプリング方法	Alt キーを押してクリックした部分の画像
修復方法	クリックした場所に周囲の画像と関係なくサンプリングした画像を（サンプリング場所の位置関係性を保持しながら）のせる

4. 写真の合成 1

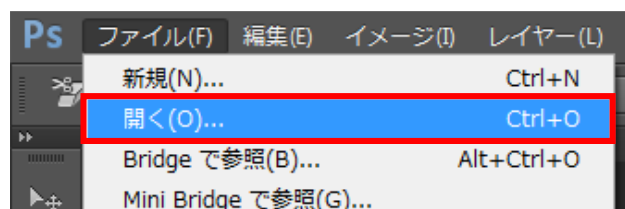
「空」の写真に「ビル」の写真を重ねて合成写真を作成します。今回はビルの切り抜きに消しゴム

ツール、背景消しゴムツール、マジック

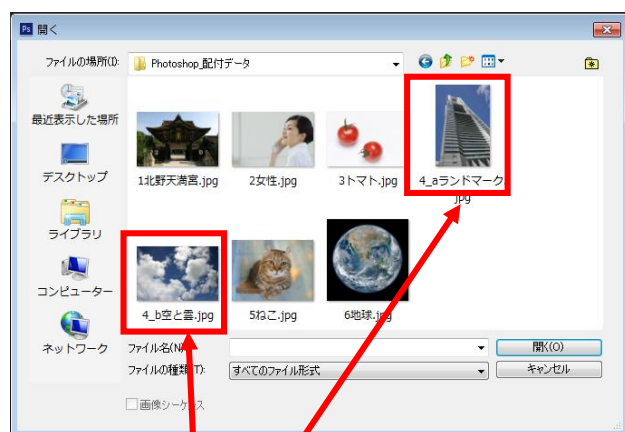
消しゴムツールを使います。

4.1. 2つの写真を重ねてみよう

「ファイル」－「開く」をクリックして、サンプル写真が保存されているフォルダを開きます。

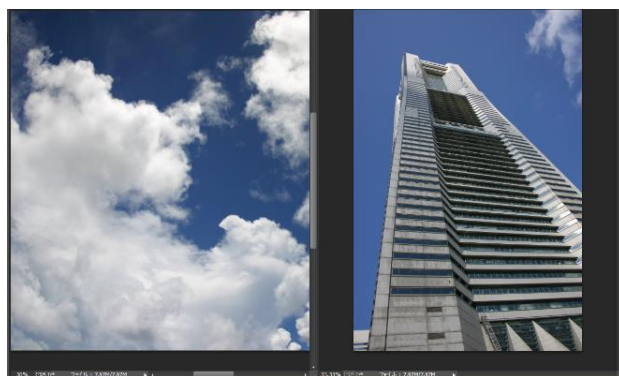
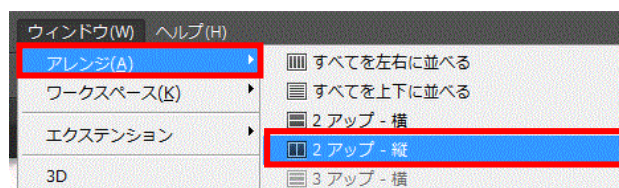


フォルダの中の「4_aランドマーク.jpg」をクリックし、「Ctrl」キーを押しながら「4_b 空と雲.jpg」を選択して開きます。



[Ctrl]キーを押しながらクリックすると、2つ以上のファイルをまとめて選択できる。

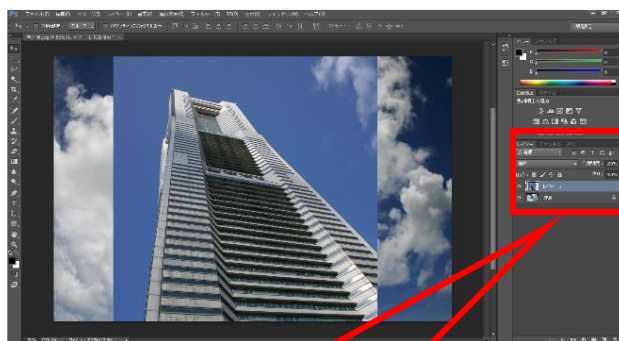
メニューで「ウィンドウ」－「アレンジ」－「2アップ縦」を選択し、2枚の画像を縦に並べて表示します。



次に

- ① 移動ツールをクリックします。
- ② ビルの写真を選択して空と雲の写真にドラッグして重ね合わせます。

写真が重なりました。

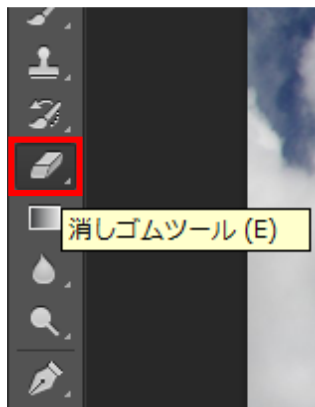


レイヤーが2つになっています。

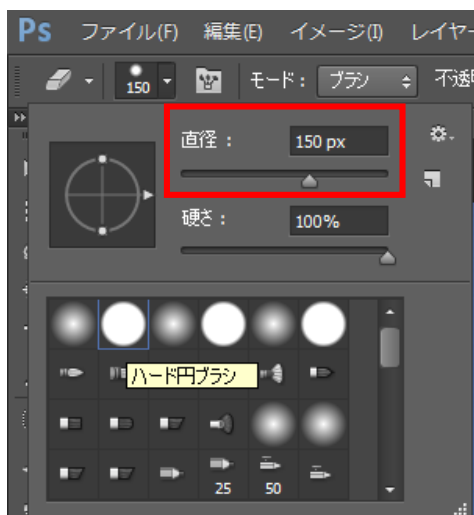
レイヤー 1 が選択されていることを確認しておきましょう。

4.2. 背景を消してみよう

「消しゴムツール」をクリックします。

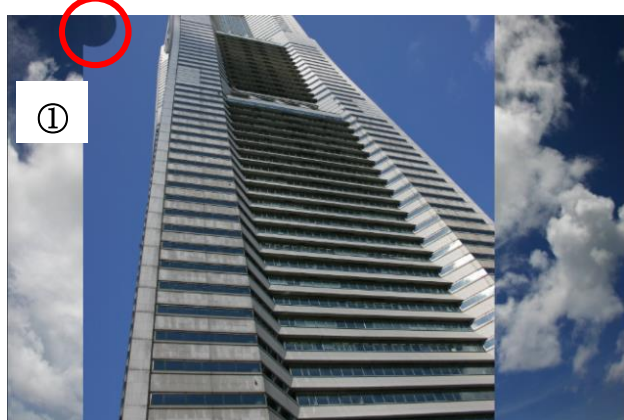


消しゴムのサイズに「150px」と入力して「ハード円ブラシ」を選択します。

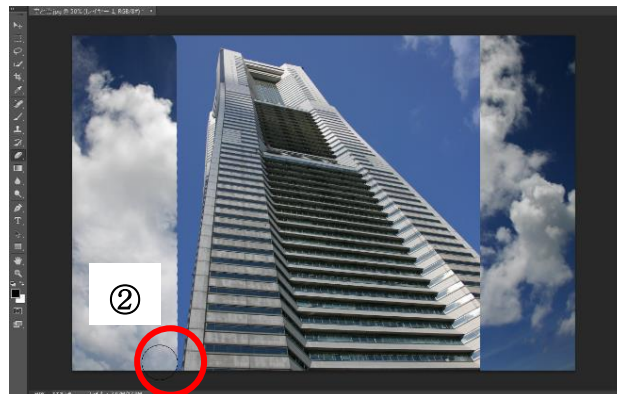


不要な部分を消します。

① 写真左上角をクリックします。



② の左下の空とビル境界部分を「shift」キーを押しながらクリックすると、①と②をつないだ直線状に、ビルの背景の空を消すことができます。このように「消しゴムツール」では、どこか1点をクリックした直後に「Shift」キーを押しながら別の箇所をクリックすることで、2点を結んだ直線状に画像を消去することができるのです。

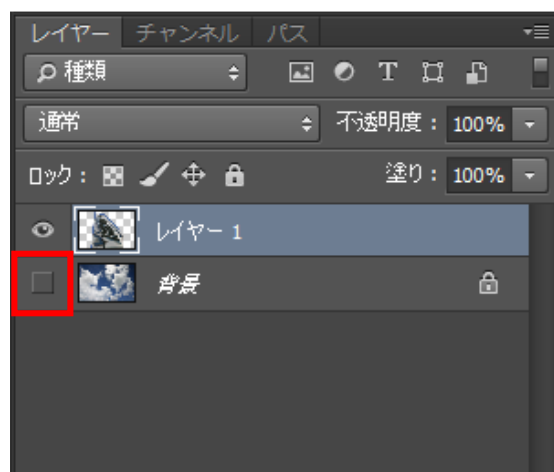


ほかの不要な部分も、おおまかに消去しましょう（細部の消去はこの次です）。



4.3. 背景を確認しよう

背景レイヤーの「」をクリックします。

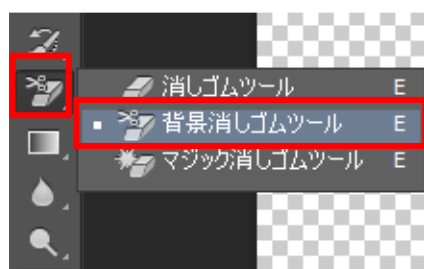


「背景」レイヤーが一時的に表示されなくなるので、ビル側の青空部分の消し残しを確認することができます。なお、は透明部分を意味します（格子模様が印刷される、という意味ではなく、「透明」を表す記号です）。



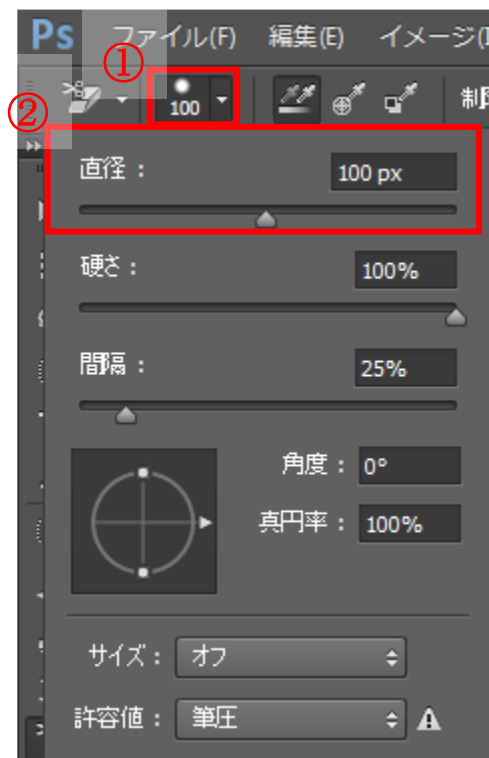
4.4. 細かく背景を消してみよう

消しゴムツール  を長押しし、背景消しゴムツール  を選択します。



① オプションバーの左上の方にある▼をクリックして背景消しゴムツールのオプションを設定します。

② 直径を「100px」に設定します。



③ 許容値を「20%」にします。



ポインタの中心を背景の不要な部分に合わせてクリックしていきます。



このとき、の内側にビルが入っても境界を自動検出するため、ビル側は消えませんが、ポインタ中心の「+」がビルに入ると消えてしまいます。

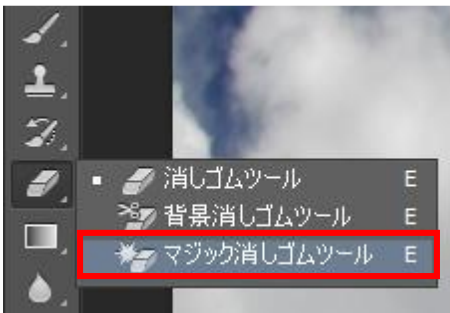
背景の不要部分がきれいになりました。



※尚、次の4.5.のマジック消しゴムツールで不要部分の削除をすると、より簡単にできます。

4.5. マジック消しゴムでビルの背景を消してみよう

- ① 消しゴムツールを長押しして、マジック消しゴムツールを選択します。



※今回は許容値などはそのまま構いません。

- ② ランドマークのレイヤーの削除する青空の部分（赤色の点線部分）を選択します。

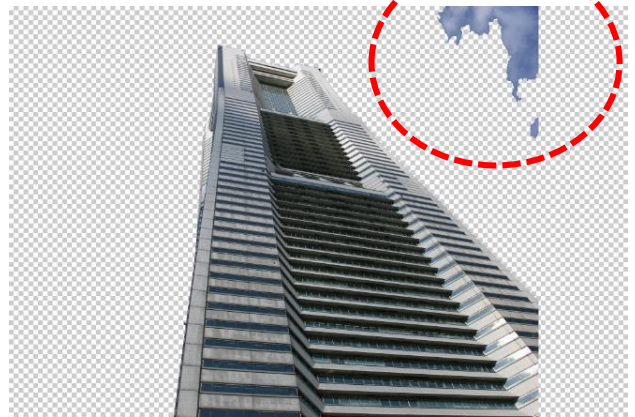


- ③ 赤点線部分内をクリックして選択すると



このように、一瞬にして、合成に不必要な部分が削除できます。

- ④ 残った不要部分が削除しやすいように、背景をいったん非表示にします。



残りの赤い点線で囲まれた部分は4.2.の消しゴムツールを使って消してみましょう。

その際は、手のひらツールで画面を上下に移動させます。

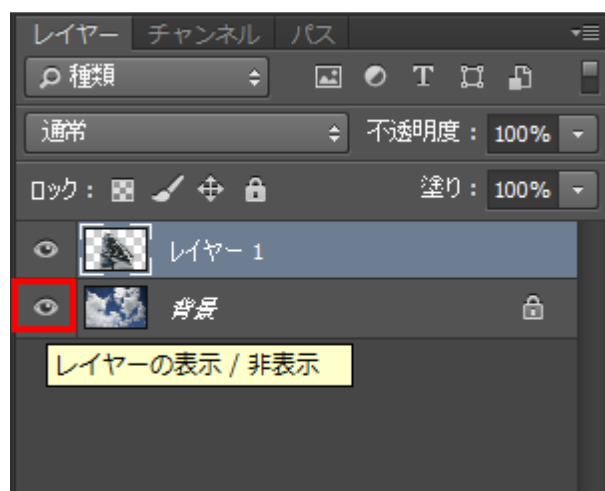
Alt キー+マウスホイールキーなどで画像を拡大縮小して消し残しがないか確認します。



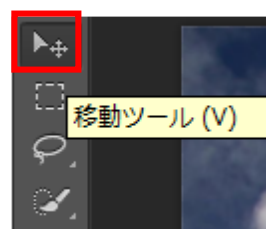
きれいに消せました。

4.6. 画像の配置を変更しよう

背景レイヤーの「■」をクリックして「👁」にし、再び表示させます。



移動ツールをクリックし、ビルを写真右端へ移動してみましょう。



合成写真の出来上がりです。



完成！！

5. 画像のトリミング

5.1. 自由な大きさにトリミングする方法

トリミングには様々な方法がありますが、補足として、基本である「自由な大きさにトリミングする」方法を紹介します。

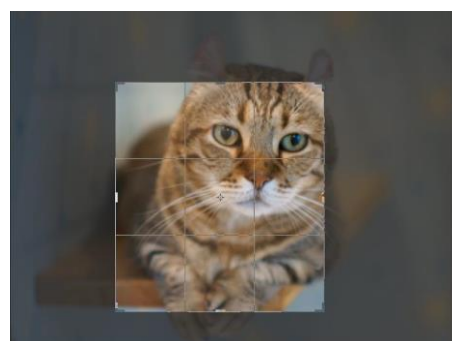
サンプル写真が保存されているフォルダから「5ネコ.jpg」を選択し、開きます。



ツールパネルから切り抜きツールを選択します。今回はオプションバーで設定を変更せず、デフォルトのまま作業します。写真の切り抜きたい範囲をドラッグします。



トリミングしたい範囲が選択されました。



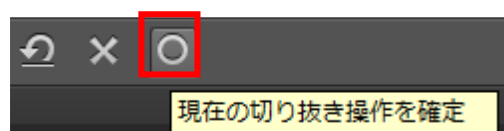
選択した範囲内にポインタを重ねてドラッグすると、選択範囲が移動します。

また、8箇所のコーナーにあるハンドルをドラッグすると、選択範囲のサイズが変わります。



切り抜く範囲を決めたらオプションバーの、

 ボタンをクリックして切り抜き操作を確定させます。



 アイコンは切り抜きボックス等の初期化です。

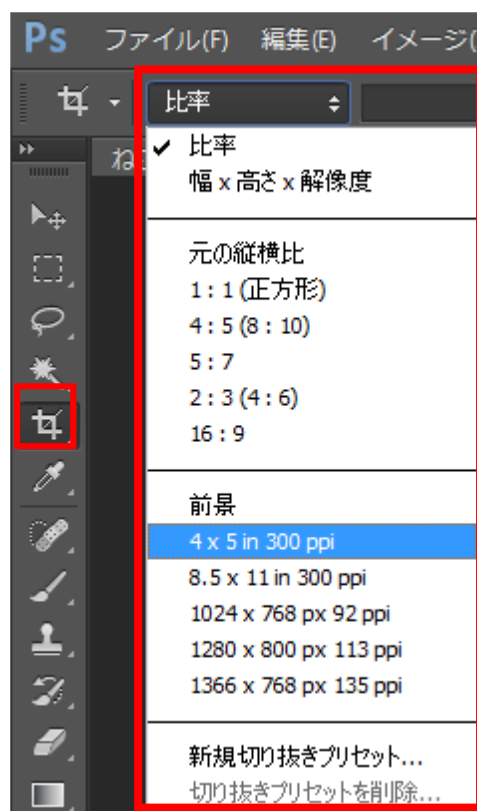
 アイコンは切り抜き操作キャンセルです。
アイコンは切り抜き操作キャンセルです。



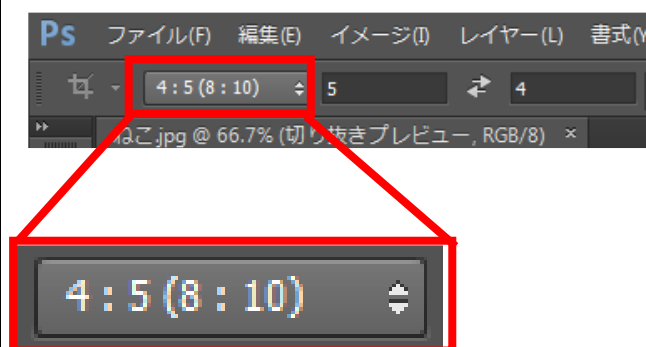
トリミングできました！

5.2. 画像サイズ比率を指定したトリミング

証明写真などのサイズ比率を指定した切り抜き方法



赤枠線内の比率を選択することで各種証明写真、たとえばパスポート用や履歴書用などの用途で画像サイズに変更できます。



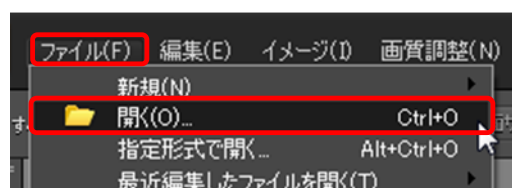
選択した縦横比率が固定で切り抜きがされます。
(この図では横4：縦5の比率になる)

6. 写真の合成2

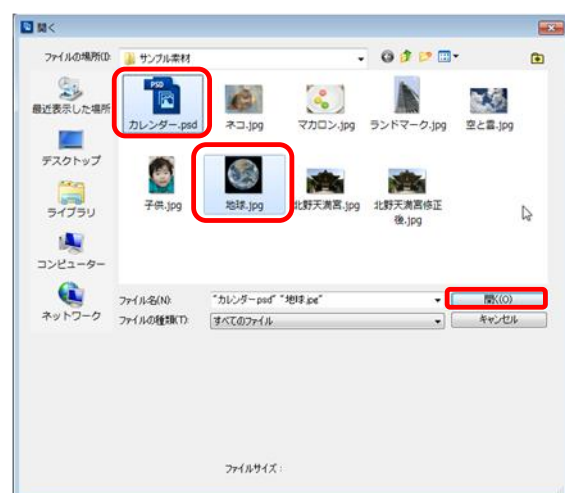
自動選択ツールを使って写真の一部だけを切り抜き、カレンダー画像と合成させ、デスクトップ壁紙を作成しましょう。

自動選択ツールで被写体だけを選択

「ファイル」－「開く」を選択します。



「カレンダー.psd」を選択後「Ctrl」キーを押しながら「地球.jpg」を選択して、両方を開きます。



「地球.jpg」で、切り抜き作業をします。

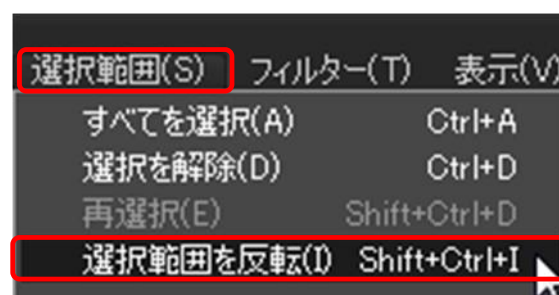
①自動選択ツールをクリックします。

②許容値を「70」にします。

宇宙空間（黒い背景）部分をクリックします。



次に、メニューバーの「選択範囲」－「選択範囲を反転」をクリックします。



背景を選択した状態で範囲を反転すれば、被写体自身が選択できるわけです。以下のように、地球だけが選択された状態になりました。



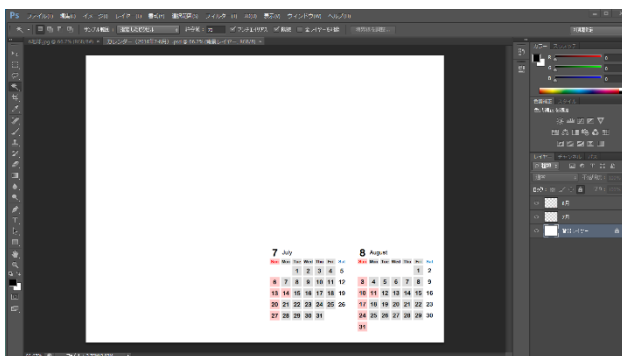
このまま切り出してしまうと境界が鋭くなってしまう（地球と宇宙の間にある大気圏を描写できない）ので、選択範囲から「境界をぼかす」を選択します。



半径を「10 (pixel)」にして「OK」をクリックします。



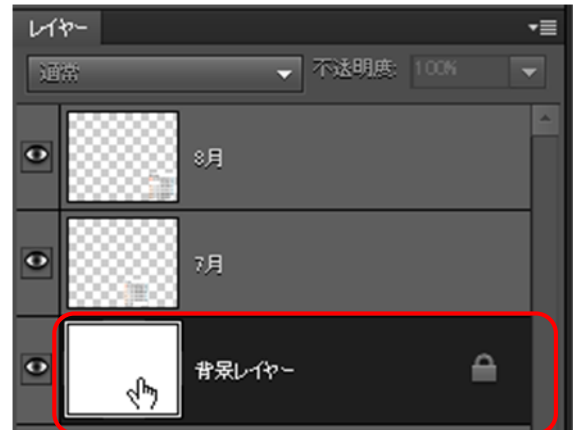
6.1. レイヤー機能で、地球とカレンダーを合成
別の画像ファイル「カレンダー.psd」を選びます。



「カレンダー.psd」は3つのレイヤーによって構成されています。

レイヤーパレットのカーソルを一番下のレイヤーである「背景レイヤー」に合わせておきます。

※「psd ファイル」については付録 7.3 参照

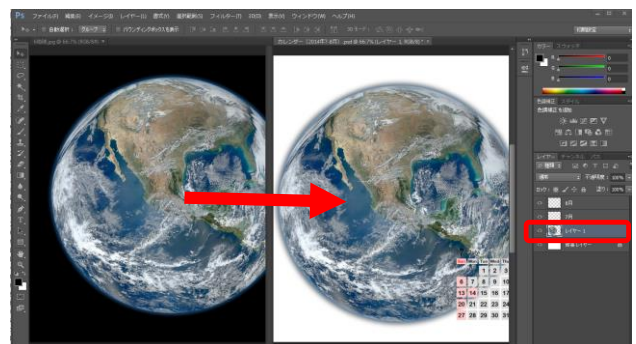


メニューで「ウィンドウ」－「アレンジ」－「2 アップ縦」を選択し、2 枚の画像を縦に並べて表示します。

①まず移動ツールを選び、

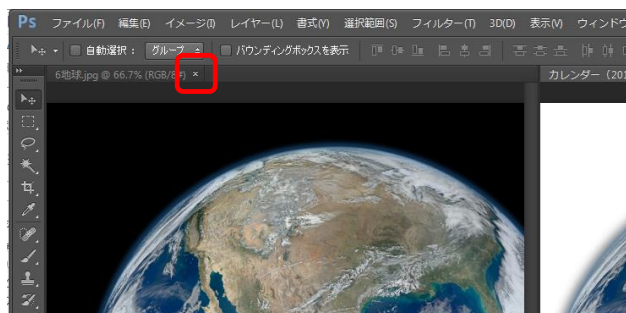
②地球をドラッグして、「カレンダー.psd」のアイコンの上に移動させます。

地球の画像が「レイヤー1」として「カレンダー.psd」に挿入されました。



6.2. 地球のサイズを縮小、位置を調節

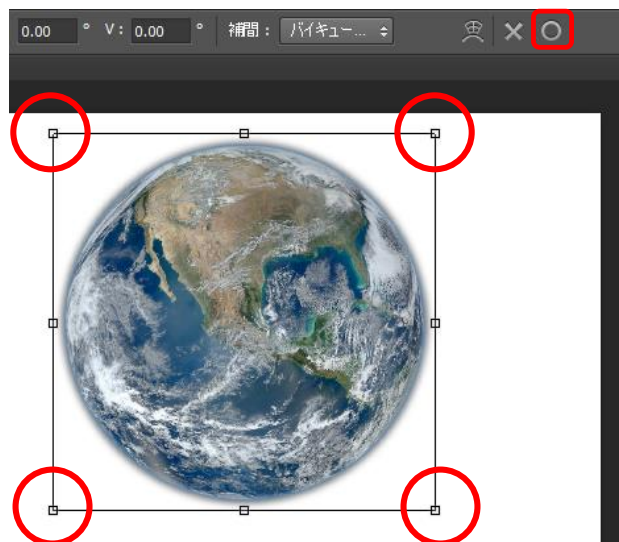
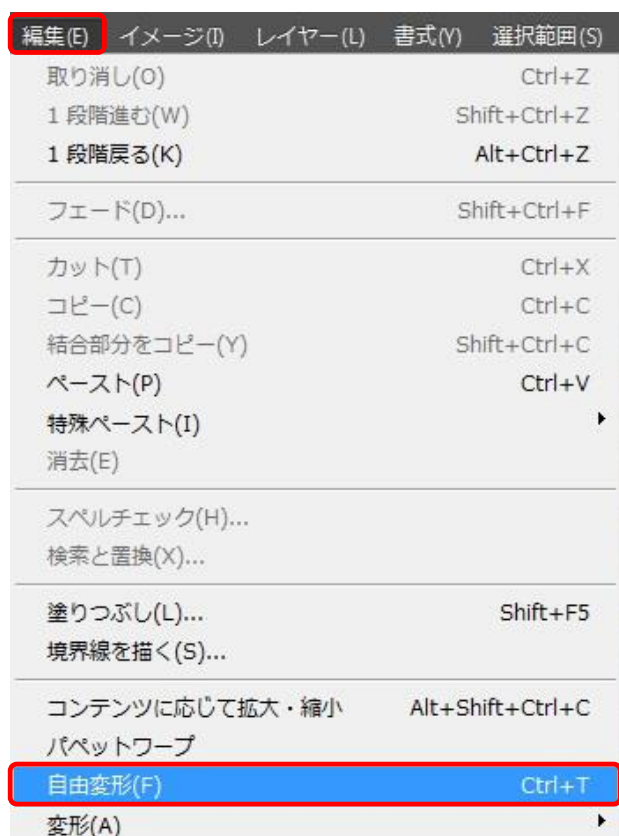
移動する元になった地球のファイルは×印で閉じておきましょう。



カレンダー上の地球を小さくします。

①「レイヤー 1」を選択した状態で、

「編集」—「自由変形」を選択。



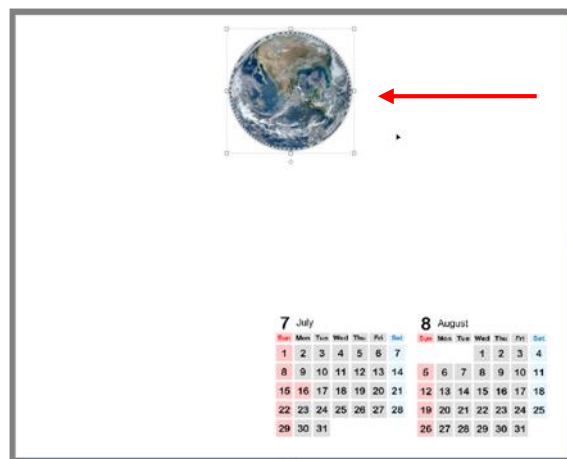
②四隅のどこかにカーソルを合わせ、

Shift キーを押しながら全体を縮小する。

※このとき Shift キーを押さないと比率が変わってしまうので注意！

③そのまま、地球の中央部分を持ってドラッグし、好みの位置に配置します。

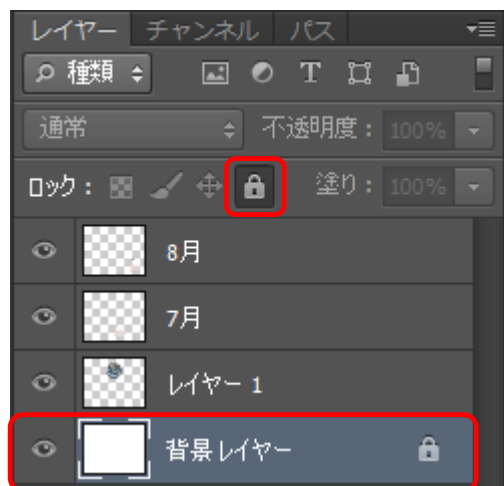
④右上の印をクリックして確定させます。



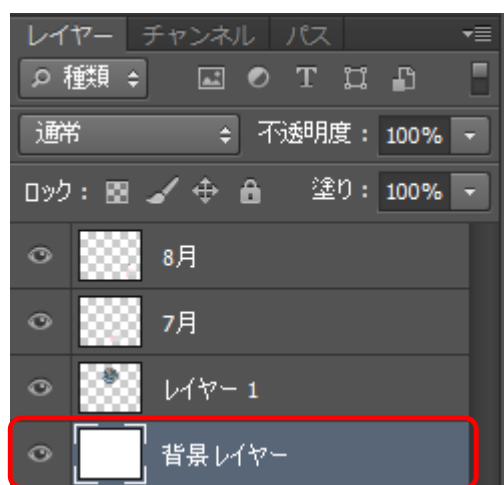
6.3. 背景を黒く塗りつぶそう

「背景レイヤー」を選択し、ロックを解除します。

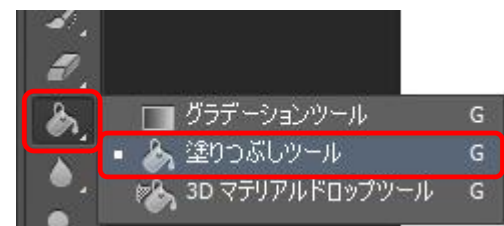
①レイヤーから「背景レイヤー」を選択します。



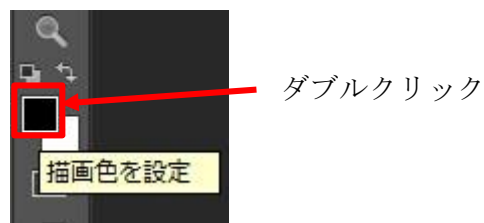
②上のカギのマークをクリックするとロックが解除され、「背景レイヤー」を編集することが可能になります。



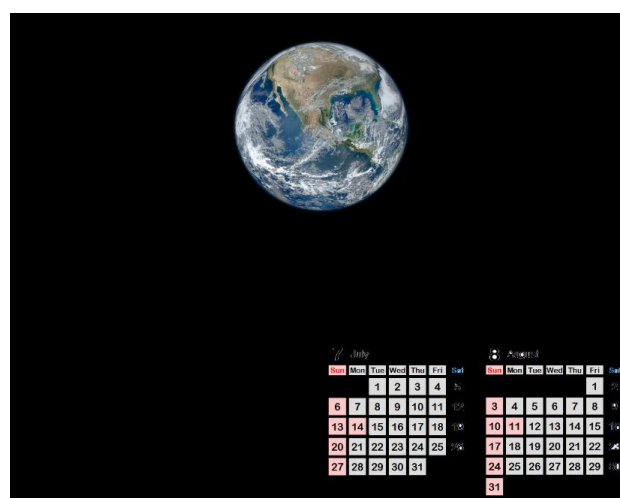
③この状態でツールパネルから「塗りつぶしツール」を選択します。



④「描画色」をダブルクリックして、カラーピッカーから黒（#000000）を選びます。



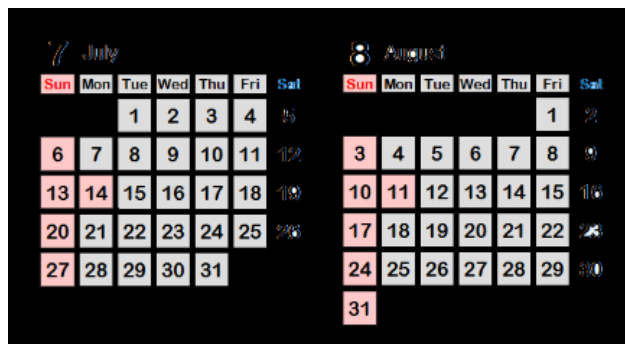
⑤画面の白い背景の上でクリックします。



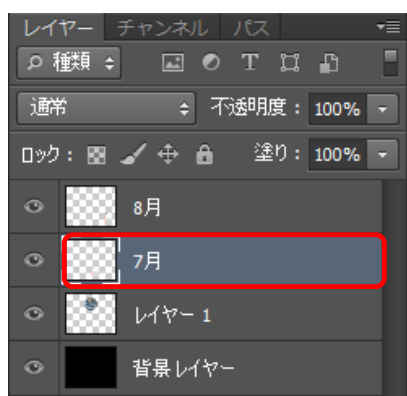
背景の白い部分が塗りつぶされました。

6.4. カレンダーを見やすくしよう

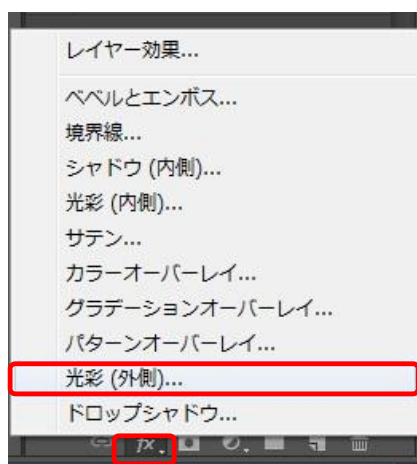
黒で塗りつぶした際カレンダーの文字もつぶれてしまいました。これをうまく見えるように調整しましょう



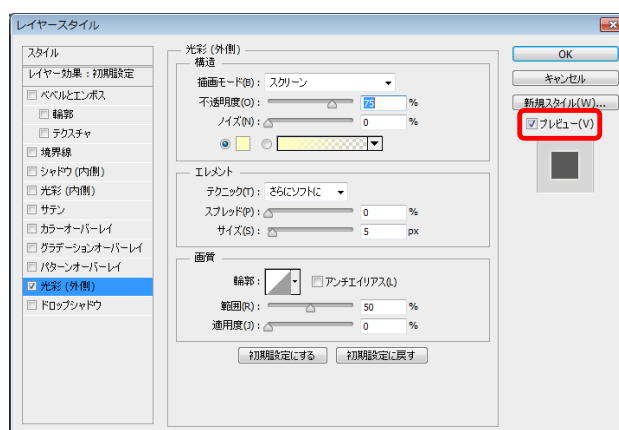
①「7月」レイヤーを選択します。



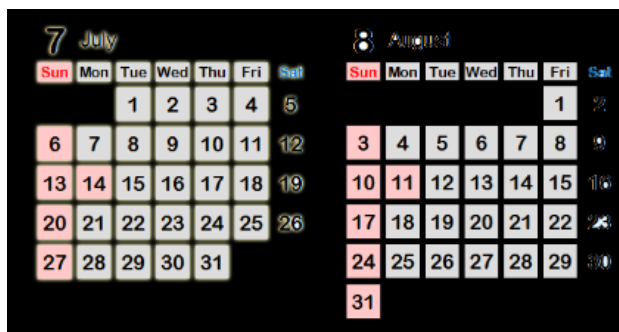
②この状態で、レイヤーの最下部にある **fx** をクリックし、「光彩（外側）」を選択します。



「レイヤースタイル」が開く



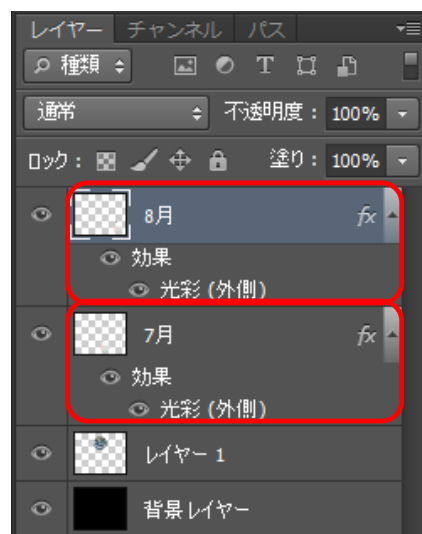
この状態で「プレビュー」にチェックが入っていることを確認して、実際の画面を見てみる。



8月と比べると一目瞭然。輪郭に光が差し、特に文字が見やすくなっているはず。OK を押し決定します。

③同じ操作を「8月」レイヤーに対しても行う。

レイヤーはこのような状態になっているはず。

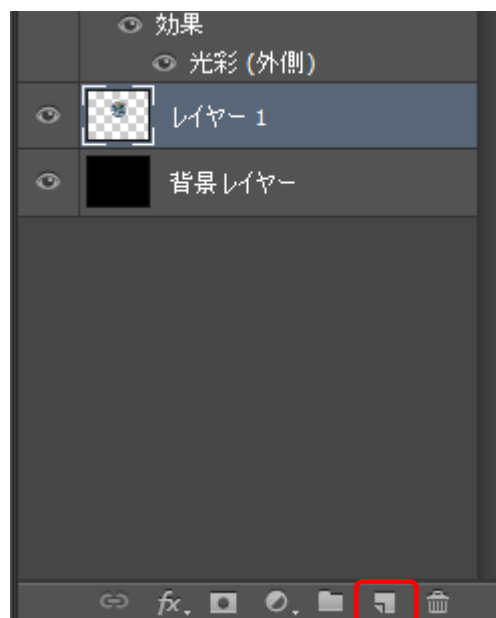


7. 付録

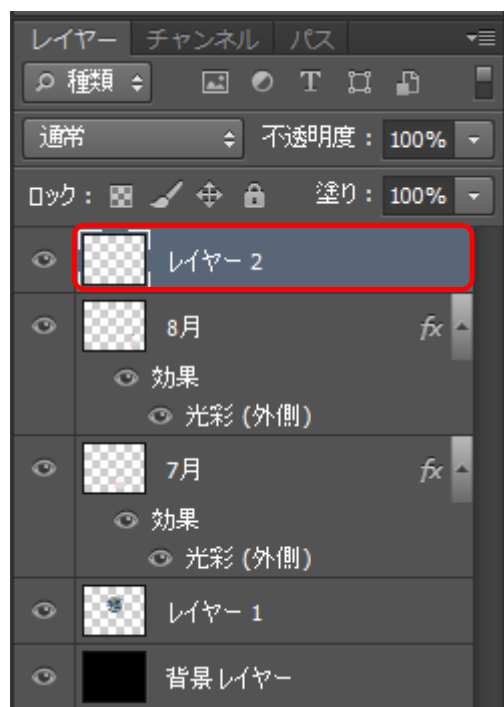
7.1. 宇宙部分に星を描き足してみましょう

まず「新規レイヤーを作成」します。

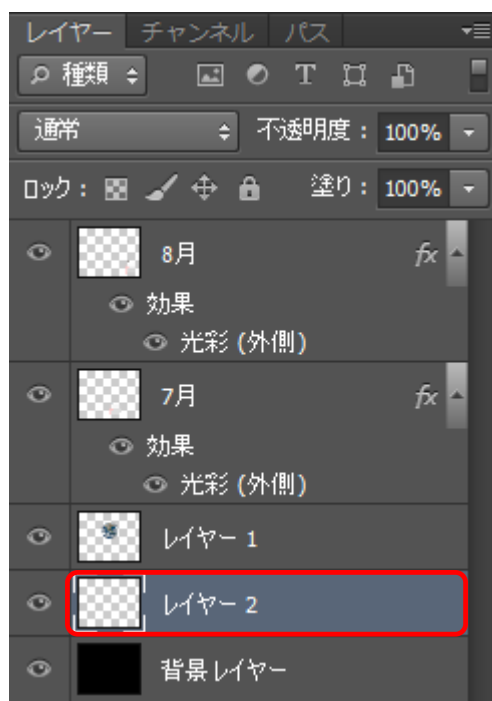
レイヤー最下部のをクリック



今まで選択していたレイヤーのすぐ上に新しいレイヤー（ここではレイヤー2）が追加されます。



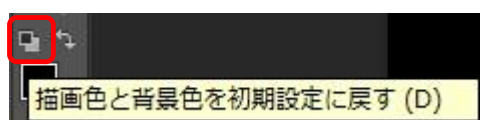
できた「レイヤー2」をドラッグし、背景レイヤーのすぐ上でドロップして移動します。



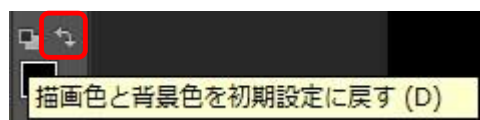
※レイヤーはこの順番どおりに積み重なっている。重なり順を変更したいときは目的のレイヤーをドラッグアンドドロップで移動可能。

星の色を決めます。ここでは基本として白い星を描いてみましょう。

①まず、ツールボックス左下にある「描画色と背景色を初期設定に戻す」ボタンをクリックして、「描画色＝黒」「背景色＝白」にします。



②次に、「描画色と背景色を入れ替え」のボタンをクリックして、「描画色＝白」「背景色＝黒」にします。



「描画色（上）」が白、「背景色（下）」が黒になった。



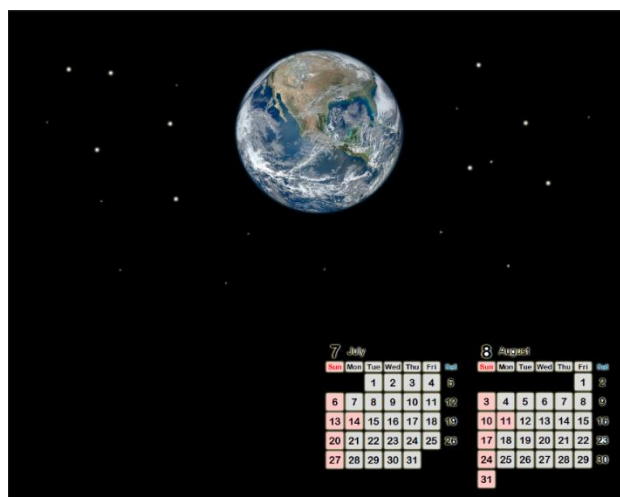
③ツールパネルから「ブラシツール

④オプションバーの

※直径は数値を直接入力してもよいし、スライダーで調整してもいい。

⑤宇宙（黒い背景）のあちこちをクリックして、5～6個くらい星を描きましょう。

⑥次にブラシのサイズを下げたて 3px くらいにしてもう少し暗めの星を描きましょう。

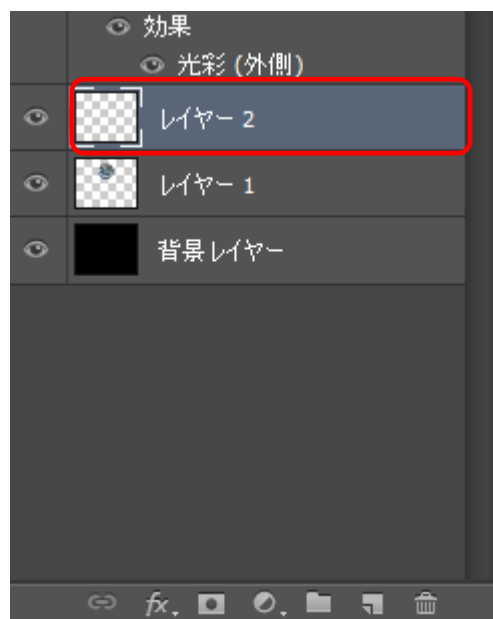


※今回は白い恒星だけでしたが、描画色を変更すればさまざまな色の星々を描くことができます。実際の宇宙の写真などを参考に描いてみてはいかがでしょうか。

7.2. 流れ星（すい星）を描く

すい星を描いてみましょう。

まずは新しいレイヤーを作ります。



① ツールパネルからブラシツールを選択。

② オプションバーから「ソフト円ブラシ (45pixel)」を選択します。



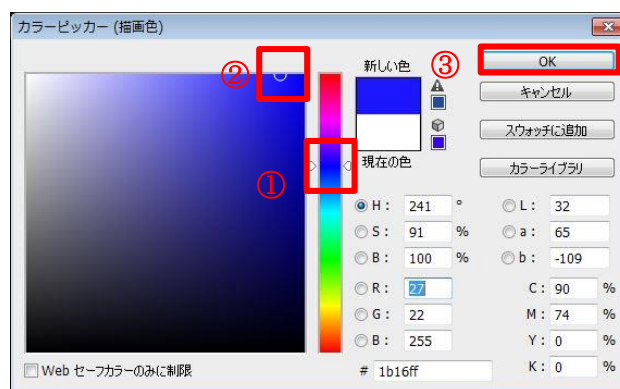
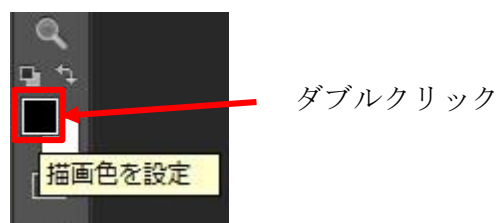
すい星の色合いを決めます。

① 描画色の枠をクリックします。

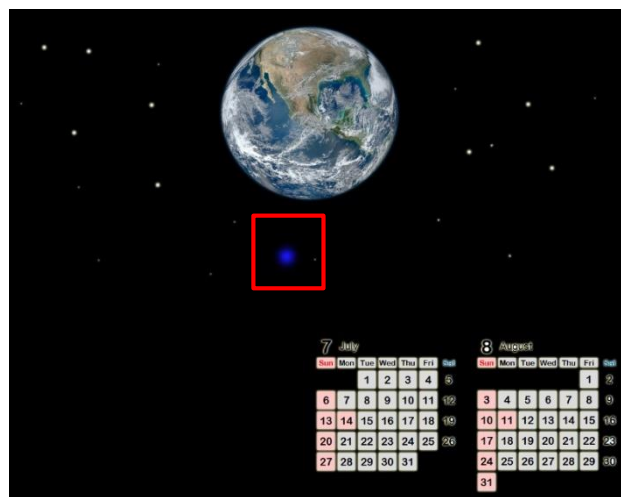
② 色のスライダーを青系の色にします。

③ 明るめな青い色を選択します。

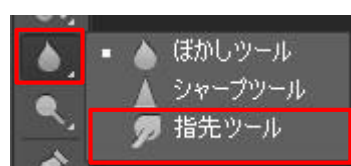
④ よければ「OK」をクリックします。



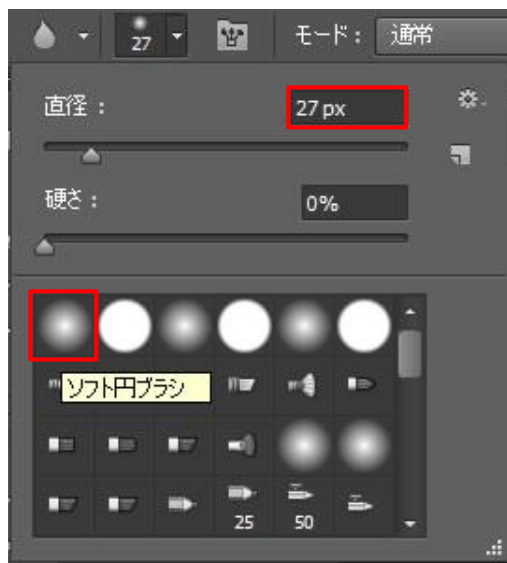
適当な位置を 1 回クリックして、すい星の頭を描きます。



「ぼかしツール」 ボタンを長押しして、「指先ツール」 ボタンに切り替えます。



①オプションバーで「ソフト円ブラシ（27pixel）」を選択します。先ほどのすい星頭部分より細いサイズです。



②すい星頭部分から左から右へ何度も同じ方向へドラッグすると、だんだん絵の具を手で伸ばすように変形して行きます。作例は10回程度真横に伸ばした状態です。

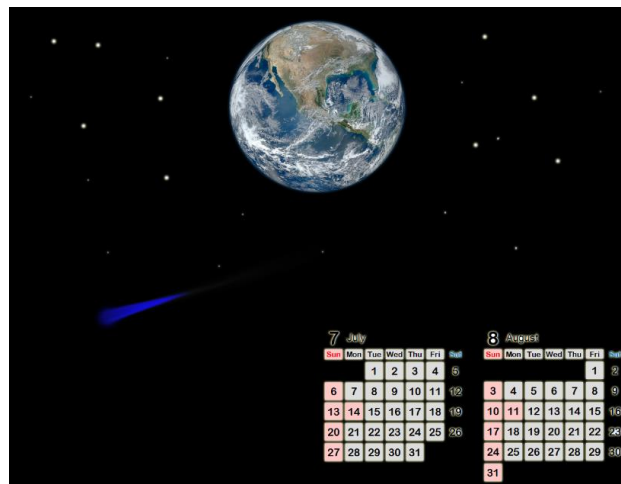


③すい星を描いた「レイヤー2」を選択している状態で、「編集」から「自由変形」を選ぶ。

④枠線をドラッグして位置を移動する。

③角の□のすぐ横でカーソルが↘印になったところでドラッグして角度も変える。

④右上の○印をクリックして確定すれば、すい星の出来上がりです。



すい星まで完成！

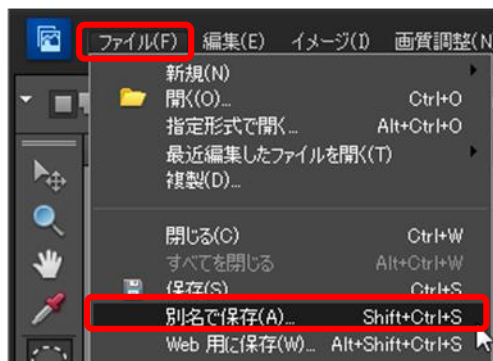
7.3. 保存 1) 編集状態を保持 (PSD 形式)

ここからは、作業後の保存について2つの方式を説明します。

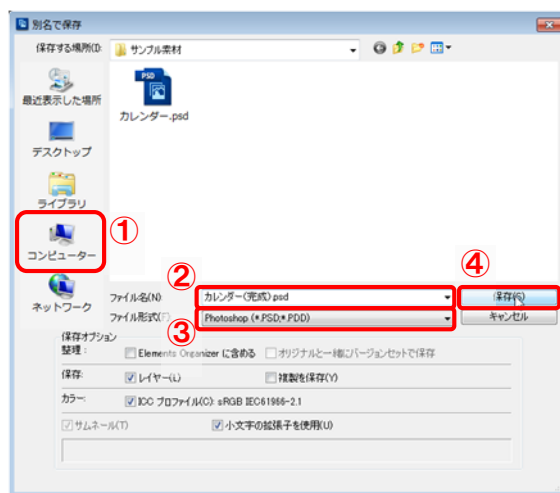
レイヤーを使うなど、Photoshop 独自機能を用いた画像を編集した場合は、まず「Photoshop 形式」で保存しておきましょう。後日、編集作業を続行することができます。

※ただし、原則として Photoshop をインストールしたパソコンでないと開くことができません。

まず、「ファイル」メニューから「別名で保存」を選択します。



①ファイルを保存する場所を「コンピュータ」からたどって USB メモリ内にしてから、②ファイル名を入力し、③ファイル形式を「Photoshop (*.PSD、*.PDD)」として、④保存ボタンをクリックします。

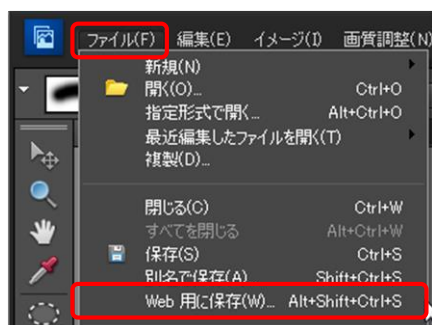


7.4. 保存 2) Web 用に保存 (JPG 形式など)

Web 上で公開する画像は、「ファイル」から「Web 用に保存」コマンドを使って書き出すと便利です。圧縮の強さ（ファイルサイズの大小）と画質をさまざまにプレビューしてから JPEG 形式、GIF 形式、PNG 形式に書き出せます。

※ファイル形式を「JPEG」や「GIF」、「PNG」で保存すると、レイヤーがまとまり1枚絵になるため、各レイヤーの編集は出来なくなります。複雑な作業を行ったデータは、必ず前項の「PSD 形式」でも保存しましょう。
※また、ここで書き出した JPEG ファイルはデスクトップの壁紙にもできます。

まず、「ファイル」から「Web 用に保存」を選択します。



「Web 用に保存」の設定画面が表示されます。

ここでは JPEG 形式を設定して、さまざまな画質を選んでみて、画質の見た目の変化とファイルサイズの変化を実験してみましょう。

適切なファイルサイズにして右上の「OK」をクリックします。

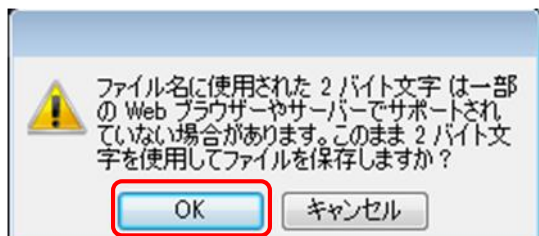
①ファイル名を入力し、②ファイルの種類を「画像のみ (*.jpg)」にして③「保存」をクリック。

※保存場所は、先ほどの USB メモリの中がそのまま表示されているはずですが。



また、以下のような2バイト文字ファイル名に関する警告メッセージが表示された場合は、保存場所のフォルダまたは保存するときのファイル名が2バイト文字（日本語など）になっている可能性があります。とりあえずそのまま

「OK」で JPEG 形式のデータを書き出してかまいません（ホームページなど、インターネット上でこの画像を利用する際には、ファイルを置く場所のフォルダ名、およびファイル名を半角英数で付けるようにしましょう）。



7.5. 目的に合わせた解像度の設定値（目安）

目的	解像度
ホームページ画像	72dpi
新聞程度の画質の写真	160dpi
きれいに印刷したい写真	300dpi